

＜その他、取組に特徴のある事例＞

○景観作物の作付けで交流の活性化を！

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県 <small>おおずし</small> 大洲市 <small>くしゅう</small> 楯生				
協定面積 26.0ha	田 (5%)	畑 (95%)	草地	採草放牧地	
	水稲・野菜	柑橘・落葉果樹	—	—	
交付金額 211万円	個人配分			50%	
	共同取組活動 (50%)	役員報酬			9%
		農道水路管理費			10%
		共同作業器具管理費			3%
景観作物管理費			1%		
その他			27%		
協定参加者	農業者 31人、 農業者以外 3人			開始：平成12年度	
人・農地プランの作成状況	集落全体で作成済				

2. 取組に至る経緯

楯生集落は大洲市長浜町の西部に位置し、三方を急峻な山に囲まれ、前面は瀬戸内海の伊予灘に面し落葉果樹の栽培に適した地域である。地区の中心部においても平地はほとんど無く、放棄田園が問題になっていたが、もともと協定で景観作物の作付けに取り組んでいたことから、協定参加者全員で菖蒲園の管理をボランティアで行うこととした。

3. 取組の内容

環境美化、魅力ある農村景観維持のために、0.2haの放任田園に設けられた菖蒲園の草刈り、草削り及び施肥等を、共同取組活動として年間3、4回実施し、素晴らしい菖蒲の花畑としている。

今では、菖蒲園の草刈り等の作業時に地域住民との交流がもて、また毎年6月第2日曜日の「楯生菖蒲祭り」の前後の2週間位には、地域外からの大勢の訪問者との交流があり、楯生地域の活性化の促進となっている。



【共同作業による菖蒲園の管理】



【花いっぱいの菖蒲園】

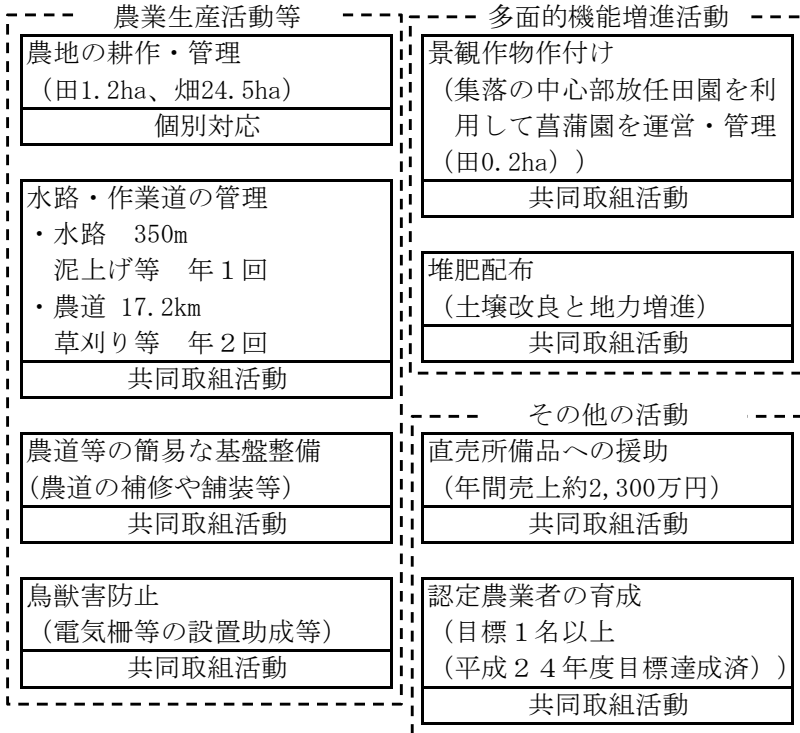
[集落の将来像]

○協働により持続的な農業生産活動等の体制整備に努め、直売所を活用しつつ、魅力ある農村景観を次世代へ継承することに努める。



[将来像を実現するための活動目標]

- 農道水路の維持管理
- 鳥獣害防止対策
- 急激な担い手不足に対処するための認定農業者の育成



集落との連携

- 大洲市猟友会長浜支部と連携を図り、イノシシ等の捕獲等を行う。
- 集落内の農家に農作業委託等ができない場合には、集落外の農家との連携を図り、農作業委託等を推進する。

4. 今後の課題等

現在、退職者の新規就農者や新規認定農業者等が少しずつ協定参加者となっているものの、現状は、協定参加者の高齢化が進み、後継者不足に頭を悩ませ、加えて地域内の耕作放棄地の増加も懸念されている状態である。

しかし、協定参加者から、集落協定が続く限り、今までの活動で誕生した直売所の「きさい市」や菖蒲園をまもりつつ、農作物の中心である落葉果樹の高付加価値を求め、今までの「みかん」から「紅まどんな」、「甘平」、「キウイ」への改植を目指し始めているのも現状である。

[第2期対策の主な成果]

- 農道舗装（コンクリート舗装）による農作業の効率化 約143万円
- 共同機械の購入による農道・法面管理の省力化 約150万円
- 直売所運営助成による運営の安定化 約69.2万円
- イノシシ防護柵（電気柵）及び捕獲器（箱わな）の購入助成 約172.2万円
- 堆肥配布にて土壌改良と地力増進 約101.8万円
- 景観作物の作付けによる地域の活性化と地区外との交流